

大阪市立心和中学校「運営に関する計画」指標に対する結果

番号	最重要目標	年度目標	結果	昨年度
1	安全・安心な教育の推進	学校に行くのが楽しいと感じる生徒を80％以上にする。	87%	65%
2		将来の夢や目標をもっていると答える生徒を80％以上にする	52%	61%
3	未来を切り拓く学力・体力の向上	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたと答える生徒の割合を昨年度以上にする。	28%	7%
4		毎日、寝る時間と起きる時間が決まっている生徒を70％以上にあする。	85%	68%
5	学びを支える教育環境の充実	授業日の90％以上学習者用端末を活用するという生徒を80％以上にする。	60%	
6		校務支援システムの改革が進んでいると感じる教職員を100％にする。	100%	100%
7		「読書が好き」という生徒の割合を80％以上にする。	67%	67%

【学校関係者の意見】

安全・安心な教育の推進	・「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒の割合が昨年度より上昇し、8割を超えたことから学びの多様化を保障する取組の一定の成果であると思う。 ・学校を楽しんでいる生徒が87%いるというのは、多様な背景や課題を抱えながら学校生活を送る生徒が多い中、生徒一人ひとりの興味・関心や実態を踏まえた教育活動が展開できているからだろう。 ・将来の夢や目標をもっている生徒の割合が低下したことは、不登校傾向にある子どもは、将来の見通しや具体的なプランを描くことが難しいのかもしれない。今後、その背景についてさらに検討を重ねてほしい。 ・夢を持つことは大切であるが、生きるだけで精一杯という生徒もいるのではないかな。
未来を切り拓く学力・体力の向上	・授業等において「生徒同士が話し合う活動」が増えていることや、生徒の生活習慣に安定・向上がみられることから、教育活動を通して、生徒同士のかかわりを基盤とした、生徒主体性や自律性の育成が進んでいるとうかがえる。 ・今後はさらに、生徒が互いの考えを認め合い、協働しながら課題を解決していく学習活動を充実させていく必要がある。 ・今後も、学習面と生活面の両面から、生徒の自主的・自律的な成長を支えていってもらえることを期待します。 ・不登校状態にある生徒は、生活リズムが崩れ、昼夜逆転につながる場合もあるので、生活リズムの安定については引き続き指導を継続することが大切である。 ・キャリア教育を充実させ、さらに生徒の自己肯定感を高めてほしい。
学びを支える教育環境の充実	・対面での出席率の平均が約6割とうかがったが、学習者用端末の利用も60%ということは、登校している生徒のほとんどが使えているということであり、効果的に活用できているということだと思う。 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実を図りながら、さらに教育活動全体のDXを推進してほしい。 ・教職員の業務の効率化・質的向上を図り、その生み出された時間を生徒への指導・支援にあてることで教育の質の向上がさらに図れると期待する。